

事業計画書

■当初 □最終

作成年月日	令和元年 12月 24日
法人名	株式会社ジョイナス
代表者職名前	代表取締役 岡崎京子
担当者名	連絡先

1 協議事項

協議の種類	計画の概要	本計画書に記載が必要な項目														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
■ 新規事業所の開設 (事業所の移転) (大幅な事業内容変更) □ 事業の追加	□ 共生型サービス	○	○	○	○											
	■ 共生型サービス以外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	■ 賃借	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 定員の変更	□ 多機能型サービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 賃借	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 現在地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 建物の構造・設備の変更	□ 施設整備を伴う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 施設整備を伴わない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2 事業実施に係る動機

本社移転に伴い、既存賃貸物件においての本事業のサービス提供の場所として国道沿いに面しているなど送迎車両の出入りが容易な立地であること、また、福山北部地域の人口が増えており放課後等デイサービス事業所の需要も高まっている地域だと判断しました。弊社の放課後児童クラブ運営では店舗が増えることでより多くの対応事例を検討し共有することでサービスの質の向上に繋がってきました。そういった経験から放課後等デイサービス事業においても新しく事業所が増えることで組織として体制を強化でき、職員一人一人の資質の向上を図ることができると考えたからです。

3 提供サービス

種別	① 放課後児童クラブ	割合	91%	提供日
	② 放課後等デイサービス	割合	9%	■ ■ ■ ■ ■ □
	③	割合	%	月 火 水 木 金 土 日
理念	コミュニケーションを中心に子供たちのやる気を引き出し、様々な活動からマナーや自発性、自立心が芽生えるように人間力を高めるプログラムを企画し運営をする。			
目標	放課後児童クラブの運営と新たに障がい児童福祉の事業運営を通して、組織全体として知識を持つことでより良いサービスの向上に繋げる。			
同種のサービス	放課後等デイサービス			

4 施設の概要【平面図は裏面のとおりに】

土地	所在地	用途区域	近隣商業地域・第一種居住地域	意見			
所在地	広島県福山市神辺町湯野289-2	用途区域	近隣商業地域・第一種居住地域	○用途変更に伴う建築基準法上の手続きは不要だが、建築士等に相談し適法な状態になるよう計画すること。			
所有者		抵当権	■ あり				
建物	名称			○事業所内の間仕切りの変更に伴い、自動火災報知設備の感知器等の移設が必要となる。また、誘導灯を設置する必要が生じる。			
	所有者		抵当権		■ あり		
	用途	放課後等デイサービス	構造		鉄骨造 スレート葺		
	階層	2 地上 2階 地下 0階	建築年		平成4 年		
事業の概要	建築面積	330 m ²	延面積	414.58 m ²	○カーテン等を使用する場合は、防炎性能を有するものを使用すること。		
	①	種別	放課後等デイサービス				
		手続	新規	使用する階		1階 専有面積	112.61 m ²
		収容人員	16人 内訳	職員		6人 利用者	10人
	②	種別		使用する階		階 専有面積	m ²
		手続					
収容人員		人 内訳	職員	人 利用者	人		
③	種別		使用する階	階 専有面積	m ²		
	手続						
	収容人員	人 内訳	職員	人 利用者	人		
内容	申請種別 □ 新築 □ 増築 □ 用途変更 ■ その他 本社移転に伴い、旧本社事務所を放課後等デイサービスの事業所とする。また、本事業所は国道486号線沿いの交差点にて送迎等の利便性にも優れ、湯田小学校より300mの立地となります。						

5 主要取引先

上段:取引先 下段:所在地	割合	掛取引	回収・支払の条件	意見
	%	- %	日 〆 日回収	
	%	- %	日 〆 日回収	
	%	%	日 〆 日回収	

6 従業員

職種	雇用形態	名前	年齢	月給	意見
管理者・保育士	■ 常 □ 非		43	25 万円	○貴社が2019年6月に開設した引野店の事業計画では、最終的に常勤4名、非常勤4名(運転手1名を含む。)を配置する予定としていた。神辺店は引野店と同規模の定員設定であるにもかかわらず、常勤2名、非常勤2名の職員体制とした考え方を示すこと。
児発管	■ 常 □ 非		44	22 万円	
児童指導員	■ 常 □ 非	C	-	22 万円	
児童指導員	■ 常 □ 非	D	-	22 万円	
児童指導員	□ 常 ■ 非	E	-	7 万円	
児童指導員	□ 常 ■ 非	F	-	7 万円	
				万円	
人件費	末日 〆 翌25日 支払	ボーナス	2 月	9 月	

7 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	意見
	運転資金	2400 万円	120 万円	○既存の借入金については、約定通りに返済できているか。
	運転資金	397 万円	162 万円	
		万円	万円	

8 必要な資金と調達方法

必要な資金	金額	調達方法	金額	意見
土地	万円	補助金	万円	
建物	万円	自己資金	200 万円	
設備	270 万円	借入金	1000 万円	
車両	200 万円			
その他	万円			
運転資金	730 万円			
合計	1200 万円	合計	1200 万円	

9 事業の見通し

	1月目	2月目	3月目	1年後	意見
利用者見込 A	5 人	7 人	8 人	10 人	
月平均利用額 ※1 (1人当たり)	12.8 万円	12.8 万円	12.8 万円	12.8 万円	
収入					
給付費 ※2	0 万円	0 万円	113.5 万円	212.9 万円	
その他	0 万円	0.6 万円	0.8 万円	1.2 万円	
収入計 ①	0 万円	0.6 万円	114.3 万円	214.1 万円	
支出					
人件費	134.8 万円	134.8 万円	134.8 万円	134.8 万円	
旅費・交通費	0.5 万円	0.5 万円	0.5 万円	0.5 万円	
賃借料	17 万円	17 万円	17 万円	17 万円	
通信費	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円	
諸経費 ※4	15.1 万円	15.4 万円	15.6 万円	15.8 万円	
支払元金利息	6 万円	6 万円	6 万円	6 万円	
支出計 ②	174.4 万円	174.7 万円	174.9 万円	175.1 万円	
収支 ①-②	-174.4 万円	-174.1 万円	-60.6 万円	39 万円	
生産活動					
収入 B	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	
売上高 ※3	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	
支出 C	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	
利用者賃金	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	
必要経費	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	
最賃確保状況(A型) ((B-C)/25)/A	- 円	- 円	- 円	- 円	

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること ※1ヶ月に平日12日、休日2日利用した場合
 平日の利用額 612単位+9単位+155単位+54単位=830 830×12日(平日)=9,960単位 小計 118,620円
 休日の利用額 730単位+12単位+155単位+54単位=951 951×2日(休日)=1,902単位 処遇改善8.1%→合計 128,228円

※2 給付費は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先

上段:受注先 下段:所在地	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
	万円	□ あり □ なし	

※3 主な事業所内生産品

生産品	1時間単価	計算式	1月当たりの生産額
	円 ×	H × 日 ×	人 = 万円
	円 ×	H × 日 ×	人 = 万円

※4 諸経費:消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

様式第2号-1

受理	1 月 6 日
関係者への意見聴取	■ 市 建築指導課 消防局予防課
	■ 中小企業診断協会
	■ 関係団体
	□
回答	1 月 2 4 日

事業計画書

□当初 ■最終

作成年月日	令和元年 2月 5日
法人名	株式会社ジョイナス
代表者職名前	代表取締役 岡崎京子
担当者名	連絡先

1 協議事項

協議の種類	計画の概要	本計画書に記載が必要な項目													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
■ 新規事業所の開設 (事業所の移転) (大幅な事業内容変更) □ 事業の追加	□ 共生型サービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	■ 共生型サービス以外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	■ 賃借	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 定員の変更	□ 多機能型サービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 賃借	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 現在地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 建物の構造・設備の変更	□ 施設整備を伴う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 施設整備を伴わない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2 事業実施に係る動機

本社移転に伴い、既存賃貸物件においての本事業のサービス提供の場所として国道沿いに面しているなど送迎車両の出入りが容易な立地であること、また、福山北部地域の人口が増えており放課後等デイサービス事業所の需要も高まっている地域だと判断しました。弊社の放課後児童クラブ運営では店舗が増えることでより多くの対応事例を検討し共有することでサービスの質の向上に繋がってきました。そういった経験から放課後等デイサービス事業においても新しく事業所が増えることで組織として体制を強化でき、職員一人一人の資質の向上を図ることができると考えたからです。

3 提供サービス

種別	① 放課後児童クラブ	割合	91%	提供日
	② 放課後等デイサービス	割合	9%	■ ■ ■ ■ ■ ■ □
	③	割合	%	月 火 水 木 金 土 日
理念	コミュニケーションを中心に子供たちのやる気を引き出し、様々な活動からマナーや自発性、自立心が芽生えるように人間力を高めるプログラムを企画し運営をする。			
目標	放課後児童クラブの運営と新たに障がい児童福祉の事業運営を通して、組織全体として知識を持つことでより良いサービスの向上に繋げる。			
同種のサービス	放課後等デイサービス			

4 施設の概要【平面図は裏面のとおり】

土地	所在地	用途区域	近隣商業地域・第一種居住地域	主な修正点	
所在地	広島県福山市神辺町湯野289-2	用途区域	近隣商業地域・第一種居住地域	別紙「意見への回答」	
所有者		抵当権	■ あり		
名称					
所有者		用途	放課後等デイサービス		
用途	放課後等デイサービス	構造	鉄骨造 スレート葺		
階層	2 地上 2階 地下 0階	建築年	平成4 年		
建築面積	330 m ²	延面積	414.58 m ²		
事業の概要	①	種別	放課後等デイサービス		
		手続	新規	使用する階	1階 専有面積 112.61 m ²
		収容人員	16人 内訳 職員 6人 利用者 10人		
	②	種別		使用する階	階 専有面積 m ²
		収容人員	人 内訳 職員 人 利用者 人		
	③	種別		使用する階	階 専有面積 m ²
収容人員		人 内訳 職員 人 利用者 人			
内容	申請種別 □ 新築 □ 増築 □ 用途変更 ■ その他 本社移転に伴い、旧本社事務所を放課後等デイサービスの事業所とする。また、本事業所は国道486号線沿いの交差点にて送迎等の利便性にも優れ、湯田小学校より300mの立地となります。				

5 主要取引先

上段:取引先 下段:所在地	割合	掛取引	回収・支払の条件	主な修正点
	%	- %	日 〆 日回収	
	%	- %	日 〆 日回収	
	%	%	日 〆 日回収	

6 従業員

職種	雇用形態	名前	年齢	月給	主な修正点
管理者・児発管	■ 常 □ 非		44	25 万円	別紙「意見への回答」
保育士	■ 常 □ 非		-	22 万円	
保育士	■ 常 □ 非		-	22 万円	
児童指導員	■ 常 □ 非		-	22 万円	
児童指導員	□ 常 ■ 非	E	-	7 万円	
児童指導員	□ 常 ■ 非	F	-	7 万円	
人件費	末日 〆 翌25日 支払	ボーナス	2 月 9 月	万円	

様式第2号-2

受付印

2月6日 受付
(受付印 省略)

7 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	主な修正点
	運転資金	2400 万円	120 万円	別紙「意見への回答」
	運転資金	397 万円	162 万円	
		万円	万円	

8 必要な資金と調達方法

必要な資金	金額	調達方法	金額	主な修正点
土地	万円	補助金	万円	
建物	万円	自己資金	200 万円	
設備	270 万円	借入金	1000 万円	
車両	200 万円			
その他	万円			
運転資金	730 万円			
合計	1200 万円	合計	1200 万円	

9 事業の見直し

	1月目	2月目	3月目	1年後	主な修正点
利用者見込 A	5 人	7 人	8 人	10 人	
月平均利用額 ※1 (1人当たり)	12.8 万円	12.8 万円	12.8 万円	12.8 万円	
収入	0 万円	0 万円	113.5 万円	212.9 万円	
給付費 ※2	0 万円	0.6 万円	0.8 万円	1.2 万円	
収入計 ①	0 万円	0.6 万円	114.3 万円	214.1 万円	
支出	134.8 万円	134.8 万円	134.8 万円	134.8 万円	
人件費	0.5 万円	0.5 万円	0.5 万円	0.5 万円	
旅費・交通費	17 万円	17 万円	17 万円	17 万円	
賃借料	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円	
通信費	15.1 万円	15.4 万円	15.6 万円	15.8 万円	
諸経費 ※4	6 万円	6 万円	6 万円	6 万円	
支払元金利息	174.4 万円	174.7 万円	174.9 万円	175.1 万円	
支出計 ②	-174.4 万円	-174.1 万円	-60.6 万円	39 万円	
収入 B	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	
売上高 ※3	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	
支出 C	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	
利用者賃金	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	
必要経費	- 円	- 円	- 円	- 円	
最賃確保状況(A型) (((B-C)/25)/8)/A	- 円	- 円	- 円	- 円	

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること ※1ヶ月に平日12日、休日2日利用した場合
 平日の利用額 612単位+9単位+155単位+54単位=830 830×12日(平日)=9,960単位 小計 118,620円
 休日の利用額 730単位+12単位+155単位+54単位=951 951×2日(休日)=1,902単位 処遇改善8.1%→合計 128,228円

※2 給付費は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先

上段:受注先 下段:所在地	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
	万円	□ あり □ なし	

※3 主な事業所内生産品

生産品	1時間単価	計算式	1月当たりの生産額
	円 × H × 日 × 人 =		万円
	円 × H × 日 × 人 =		万円

※4 諸経費:消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

10 付近図

小学校区 湯田小学校 人口 12,208 人 事業所数 6 事業所 利用定員 60 人 ○ … 事業所 × … 同種の事業所 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">付近図 添付省略</div>	主な修正点 別紙「意見への回答」
--	---------------------

11 平面図

※平面図のデータを貼付 	主な修正点
-----------------	-------

12 事業計画

営業時間 平日10:00~19:00 土曜日・長期休暇日8:30~18:30 利用定員 10人 送迎 あり サービス提供時間 平日14:30~17:30 土曜日・長期休暇日10:00~16:00 施設の特徴 自動施設、お知らせメール、ポルタリング 支援の内容 運動体操、集団行動、工作、クッキング、対外活 <方針> 児童が過ごす放課後の生活の中で、療育・支援活動プログラムを多種多様に準備し、何が好きか・得意か、何が嫌い・苦手かという体験を積み重ねることが大切だと考えております。事業所を利用する中で、どこを伸ばしていきたいか、好き・得意を伸ばしていく意思確認を児童・保護者と共有し、また、スタッフ間でどれだけ情報共有するかを一番大切に考え支援を行う。 平日の療育は、休日と比べ提供時間が短い事もあり、中身の濃い療育とはなりにくいと考えられます。しかし、短い時間の中でも体の使い方を知ったり、人との関わりの楽しさを感じたり、達成感を感じたりできる療育を目指し取り組みます。 土曜日、長期休暇日では集団の中での活動を中心に取り組んでいきます。活動の中で相手との関わり、つながりの大切さを味わえるよう取り組みます。	主な修正点 別紙「意見への回答」
--	---------------------

13 利用者処遇

<情報共有> 保護者との日々の情報の共有の積み重ねが一番大きく子ども達の成長に繋がっていくと考えております。多種多様なプログラムで、子ども達の能力を伸ばし「自信」と「やる気」に変えて行きたいと考えています。保護者や学校の先生からの話などを通じて利用児童の姿を把握し、より良い支援を行えるよう対応の仕方や療育の在り方などを従業者全員で共有し取り組んでいきます。 <レスパイトケア・相談> 平日の支援終わりの送迎では夕食の準備や仕事の時間との調整。また、土曜日、長期休暇中(10:00~16:00)の営業を行うことで保護者は仕事等の時間の確保もできます。 <サービス体制> 適切な支援を安定して提供するとともに、支援の質を向上させるためには、支援に関わる職員の知識・技術を高める必要があります。職員には個別の個別計画を作成してもらい、研修への参加や業務での目標を設定します。期間ごとに前回の改善点が改善できたか達成できたかなど面談を行いサービスの質を高めていきます。	主な修正点 別紙「意見への回答」
--	---------------------

14 防災計画

<避難場所> 湯田小学校 <避難方法> 指導員が児童の安全を確認しながら誘導する <その他> ・避難場所までは300m程 ・避難訓練の実施	主な修正点
---	-------

15 一日の流れ

10時00分 ~ 12時00分 出勤、朝礼、前日の確認、本日の確認、準備、事務業務 12時00分 ~ 13時00分 休憩 13時00分 ~ 14時30分 準備 14時30分 ~ 17時30分 サービス提供 17時30分 ~ 18時15分 送迎 18時15分 ~ 19時00分 日誌の記入、振り返りミーティング 〇時〇分 ~ 〇時〇分	主な修正点 別紙「意見への回答」
--	---------------------